

iMatrix-511 と iMatrix-511 silk の性能確認

【目的】

hiPS 細胞培養における iMatrix-511 と iMatrix-511 silk の細胞接着/増殖活性、未分化維持、生存率が同等であることを確認する。

【実験方法】

hiPS 細胞： 253G1 細胞 （細胞播種数 2.0×10^4 cells/well ）

培 地： 味の素 StemFit (AK02N) 培地

プレート： BD 6 well plate

培養手順： (Day -1) コーティング* → (Day 0) 細胞播種 → (Day 7) セルカウントとアルカリフォスターゼ染色

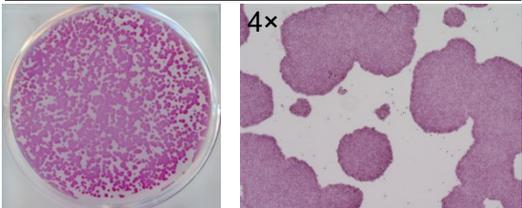
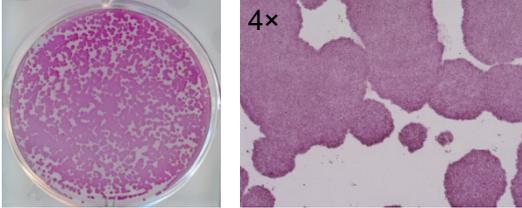
*コーティング条件：コーティング濃度 $0.5 \mu\text{g}/\text{cm}^2$ (PBS(-)で希釈) , 4°C, Over night

【判定基準】

セルカウント：細胞接着/増殖活性及び生存率が同等であること。

アルカリフォスターゼ染色：細胞接着/増殖活性、未分化性維持、生存率が同等であること。

【実験結果】

	アルカリフォスターゼ染色	セルカウント
iMatrix-511		生細胞： 3.7×10^6 cells/mL (生存率 95%)
iMatrix-511 silk		生細胞： 3.3×10^6 cells/mL (生存率 94%)

【考察】

アルカリフォスターゼ染色とセルカウント結果より、細胞接着/増殖活性、未分化性維持、生存率が同等であることが確認された。

よって iMatrix-511 と iMatrix-511 silk の性能は同等であると判断する。